

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和五年二月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー】③③

《宮本秋四郎》その4

宮本秋四郎の銅像を制作した 織田朱越について

織田朱越は明治32年三豊市豊中町岡本に生まれました。そこは江戸時代から続く岡本焼の産地でした。実家も窯業に関わり、幼いころから土をこねて遊んでいたようです。

東京美術学校を出て大阪での修行後三十歳頃故郷に戻り、原鑄造所で銅像の原型師になりました。有名な



織田朱越作「伝かくや姫」
「広報みとよ(2011)」より

「太郎やあい」の初代作（太郎の母かめ女は観音寺市の出身で、子を思う母の感動的な物語として国語の教科書に掲載）を始め日蓮上人、二宮金次郎、大久保じん之丞、月照上人（初代作）、石井朝太郎など制作した銅像は香川・愛媛の銅像の大部分を占めています。また陶土による肖像作品は常識を越えたりアルサから「生き写し」と言われ見事な人体比率かつ精巧に作られていてその天才的な造形力により「幻の作家」と呼ばれました。八十三歳で亡くなるまで三百体余を制作したとされています。

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は **2月6日** です。

午前八時～九時（雨天：2月13日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-11962



【琴弾公園クイズ】④⑥

琴弾公園にある「山口の井戸」は昔からあり、海の近くでも真水が湧き、涸れることのない不思議な井戸ですが、誰が作ったと言われているでしょうか。

- ① 西行
- ② 真念
- ③ 空海



『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



寛談 雑永

(坂田廣介作
泣いた赤鬼)

迷路をたどりながら話をさぐっていく杉山亮さんの『おはなしめいろ』は大人でもニヤリとしてしまう楽しい絵本です。真似をして作ってみたいのですがお時間があればルーペを片手に読んでみてください。正解は「山の中に一人の赤鬼が住んでいました。赤鬼は人間と仲良くしたいと思い『心の優しい鬼のうちです』から遊びに来てね」という立札をたてました」なのですが、人生と同じで寄り道が結構楽しいって思っていただけたらうれしいです。(M)

◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的名物を見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしよう頑張っています。